OATGA12 人体構造学実習

1.0 単位, 1·2 年次, 夏季休業中 集中 濱田 理人

授業概要

目標:人体を構成する運動器、神経系、内臓の構造について理解する。人体を構成する各種器官について、全身における相互の位置関係を含めて論じることができる。

備考

対面

授業方法

実習·実験·実技

学位プログラム・コンピテンスとの関係

基礎知識の活用力

授業の到達目標(学修成果)

人体を構成する各種器官について、全身における相互の位置関係を含めて論じることができる。 Upon completion of this course, students will be able to explain the characteristics of the structure of the various organs in the human body.

キーワード

授業計画

ご遺体を用いた組織の観察をグループワークにて行います。

- 第1回 (1時限)濱田理人 骨学実習
- 第2回 (2時限)濱田理人 解剖実習(トルソー模型)
- 第3回 (3時限)濱田理人 肉眼解剖実習
- 第4回 (4時限)濱田理人 肉眼解剖実習
- 第5回 (5時限)濱田理人 肉眼解剖実習
- 第6回 (1時限)濱田理人 骨学実習
- 第7回 (2時限)濱田理人 解剖実習(トルソー模型)Takashi Shiga Gross Anatomy (Torso model)
- 第8回 (3時限)濱田理人 肉眼解剖実習
- 第9回 4時限)濱田理人 肉眼解剖実習
- 第10回 (5時限)濱田理人 肉眼解剖実習

履修条件

人体構造学概論を履修していること。

成績評価方法

レポートにより評価する Report

学修時間の割り当て及び授業外における学修方法

実習前には、「人体構造学概論」で学んだ内容を復習しておくこと。

教材・参考文献・配付資料等

特に定めない。プリントを配布する。 To be announced if any.

オフィスアワー等 (連絡先含む)

その他 (受講生にのぞむことや受講上の注意点等)

講義の日程はmanabaからお知らせします。

他の授業科目との関連

ティーチングフェロー(TF)・ティーチングアシスタント(TA)